

児童文学評論家赤木かん子さんの

文学寺子屋と 子どもの本のブックトーク会

児童文学評論家の赤木かん子先生をお招きして、2本立ての会を行います。
ご興味ある方、どなたでもご参加できます。

日にち 2019年8月25(日)

会場 小さな図書館 十六文庫 (名古屋市瑞穂区十六町1-17-1)

講師 児童文学評論家 赤木かん子氏

一本目

午前10時~12時 **文学寺子屋**

テーマ ミステリー

昭和平成の児童文学の系譜を解説していただきます。
社会の変遷、子ども達の置かれた状況、そして文学は何を語ってきたか？
なんと、「ミステリー」は新しい男性像の模索でもありました！

お昼の時間も文庫を開放します

二本目

午後1時半~3時半 **子どもの本のブックトーク会**

テーマ スマホ世代に読んでもらいたい本

小学低学年から下は、生まれた時からスマホのある生活を送っています。
この世代が読みたいと思っている本、また読んでもらいたい本を60冊
紹介していただきます。
会后、実際に手にとって読むこともできます。

☆参加費 一本目二本目、各3,000円 一本目と二本目通しの方は5,000円
(資料代込み・当日集めます)

☆定員 一本目二本目、各25人 (お申込み先着順で受け付けます)

☆お申込みとお問い合わせ先

メールアドレス jyuroku.bunko2011@gmail.com

電話番号 080-3076-4496

十六文庫まで